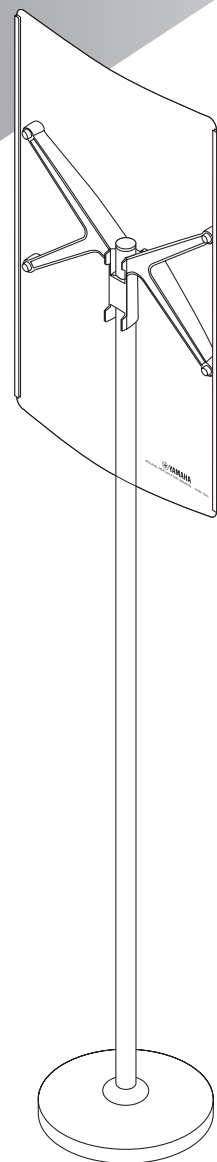
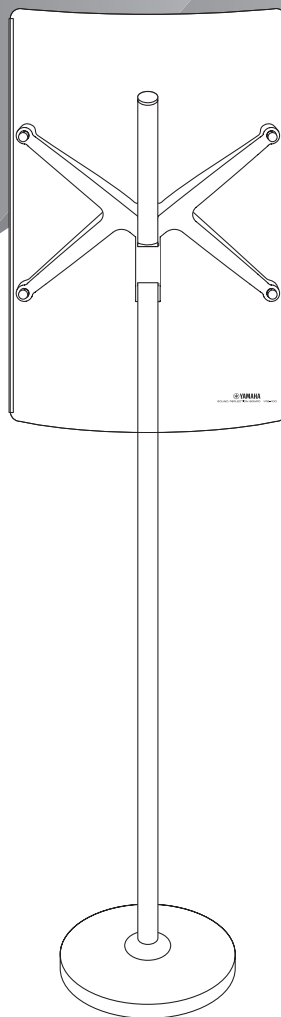


# YRB-100

**Sound Reflection Board**  
**Panneau de réflexion acoustique**  
**サウンドリフレクションボード**

**Owner's Manual**  
**Mode d'emploi**  
**Manual de instrucciones**  
**使用说明书**  
**取扱説明書**



ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

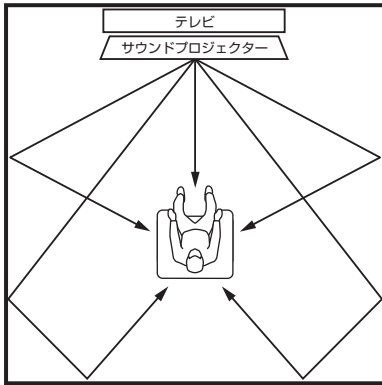
製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

最新版のPDF ファイルは、下記のウェブサイトからダウンロードできます。

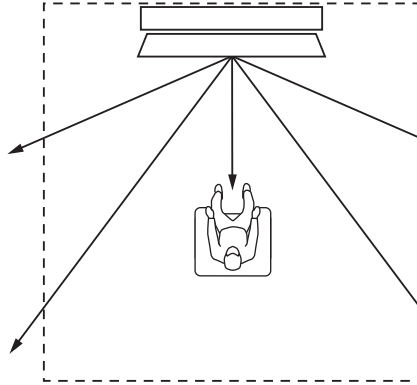
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

## 特長

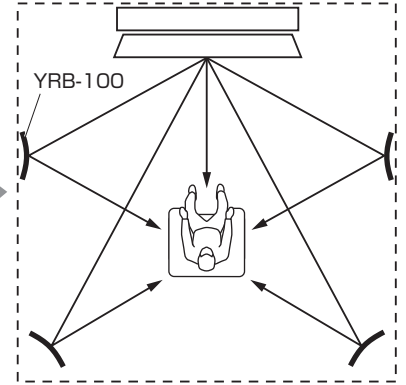
デジタルサウンドプロジェクターは、音声をビーム化し壁に反射させてサラウンド音響を実現しています。音声ビームを反射させる壁がないと、音声は視聴位置に届きません。サウンドリフレクションボード YRB-100 を適切に設置すると、壁がない場所でもサラウンド音響を実現できます。



壁があり、確実にサラウンド再生できる環境

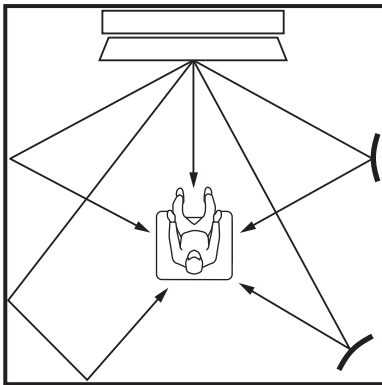


壁がないと音が反射しない

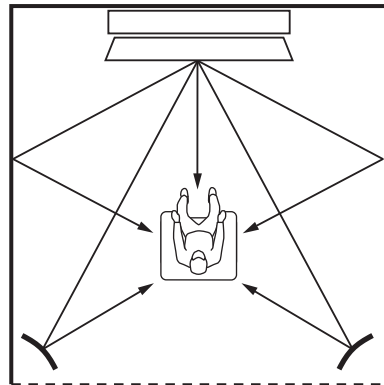


サウンドリフレクションボードで音を適切に反射させることで改善

また、以下のような部屋に設置すると効果があります。



右(または左)に通路などの空間がある部屋



後ろに空間がある部屋

本製品を使用して音声ビームを視聴位置に反射させるには、サウンドリフレクションボードを適切に設置し、サウンドプロジェクターから出力する音声ビームを調整する必要があります。音声ビームの調整方法の詳細は、サウンドプロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

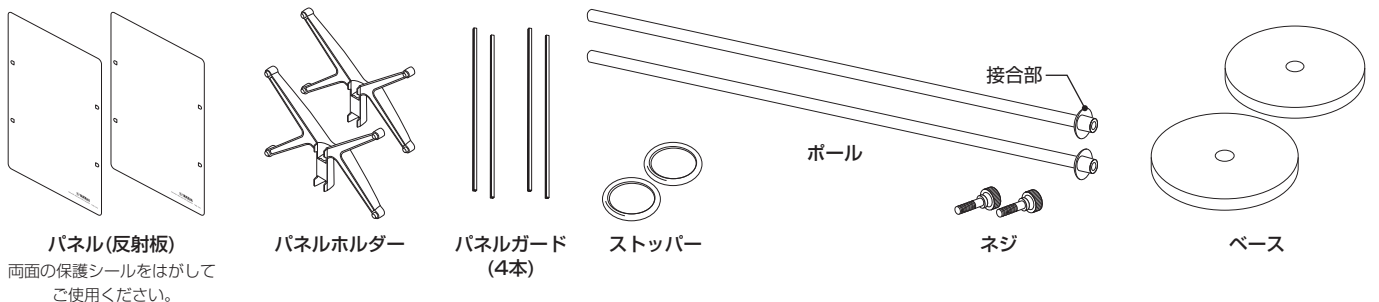
### NOTE

視聴環境によっては、YRB-100 を 1 台のみ使用します。

YRS-2100/2000/1100/1000 などのシアターラックシステムにも同じように使用できます。

## 同梱品

すべての部品を取り出し、部品が 2 台分そろっていることを確かめてください。



## 安全上のご注意

**警告** この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

### 設置

**禁止** 本製品に体重を掛けたり、寄りかかったりしない。転倒してけがをしたり、製品が破損したりするおそれがあります。とくに小さい子供やペットにご注意ください。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

### 組み立て

**必ず実行** 高さ、角度調節のときはパネルを直接持たず、パネルホルダーを持つ。パネルを持つと、製品が破損するおそれがあります。

**必ず実行** パネルホルダーを、ネジがポール（支柱）に確実に固定できる位置に取り付ける。転倒してけがをしたり、製品が破損したりするおそれがあります。

**禁止** 付属品以外のネジを使用しない。製品が破損したり、けがをしたりすることがあります。

**必ず実行** ネジは確実に締める。また長期間使用しなかった場合、ネジが緩んでいないことを確認する。ネジの締め付けが不十分な場合、パネルが落下して、けがをするおそれがあります。

**禁止** ネジを強く締めすぎない。過大な力で締め付けると、製品が破損したり変形したりすることがあります。

### 設置

**禁止** 平らでない床面などの不安定な場所、振動する場所、滑りやすい場所には設置しない。転倒してけがをしたり、製品が破損したりするおそれがあります。

**禁止** 本製品を直接風が当たるところに置かない。風によって転倒して、けがをしたり製品が破損したりするおそれがあります。

**必ず実行** 次のような場合は、転倒するおそれがあるので注意する。  
・カーテンが本製品に触れる位置で動いている場合  
・本製品の近くを人が通る場合  
・本製品の近くでドアが開け閉めされる場合  
転倒すると、けがをしたり製品が破損したりするおそれがあります。

**必ず実行** 本製品を移動する場合は、必ずポールを持つ。パネルやホルダーを持って移動すると、製品の破損につながるおそれがあります。

### お手入れ

**必ず実行** 本製品をお手入れするときは、乾いたやわらかい布で拭く。または、中性洗剤を軽く含ませ、固く絞ったやわらかい布で拭きとる。有機溶剤は使用しないでください。

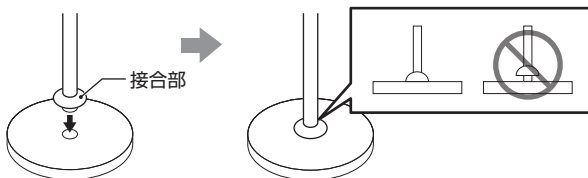
### その他

**禁止** 本来の目的以外で使用しない。転倒してけがをしたり、製品が破損したりするおそれがあります。

## 組み立て

### 1 ポールをベースの中央に挿し込む

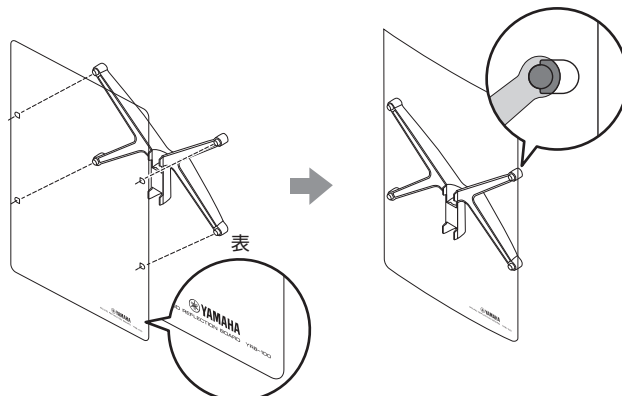
ポールの接合部とベースに隙間ができないように挿し込みます。



### 2 パネル（反射板）をパネルホルダーに取り付ける

イラストのように、パネルの穴をパネルホルダーのフックに取り付けます。片側2か所を取り付けたあと、反対側を取り付ける際は、パネルを少し曲げて押しこむように取り付けてください。

**注意** 取り付けの際は、パネルの角でけがをしないようにご注意ください。



### 3 パネルガードを取り付ける

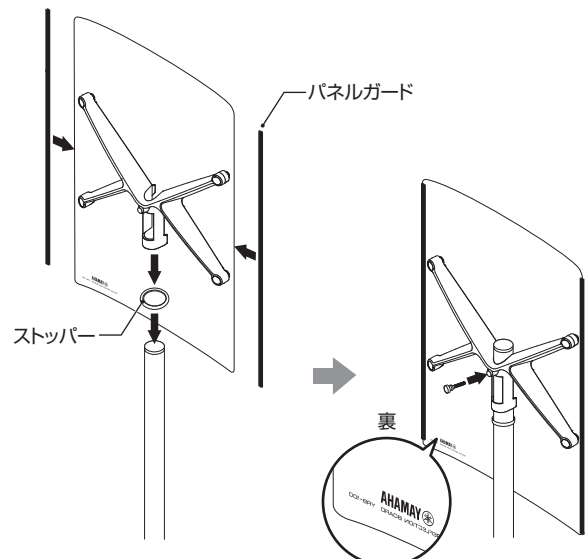
イラストのように取り付けてください。

### 4 ストッパーとパネルホルダーをポールに取り付ける

パネルホルダーが落ちないように、ストッパーをポールに取り付けます。

パネルホルダーをポールに取り付け、確実にネジを締めます。取り付けるときは、パネルではなく、パネルホルダーを持ってください。

パネルの高さは、ポールの先端がパネルホルダーの穴から少し出る位置より高くしないでください。



# 設置と調整

## 1 ビーム調整をする (1回目)

サウンドリフレクションボードを設置する前に、サウンドプロジェクターの自動設定の「ビーム調整」を実施する

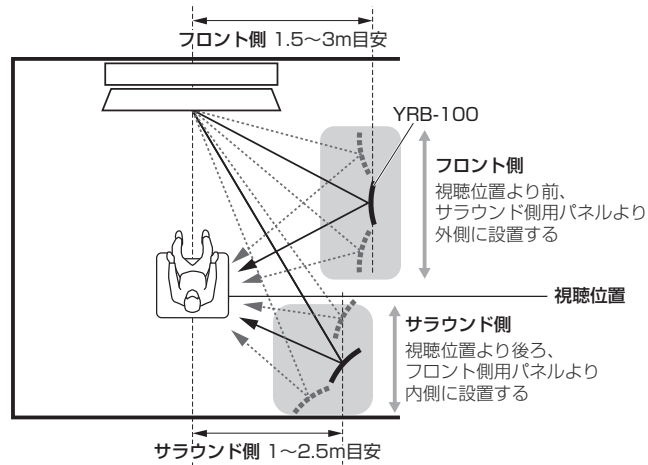
壁に反射させるチャンネルのビーム角度を測定します。自動設定したあとは、「決定」キーを押して、サウンドプロジェクターに設定を保存してください。

## 2 位置を決める

図を参考にしてサウンドリフレクションボードを置く

### ⚠ 注意

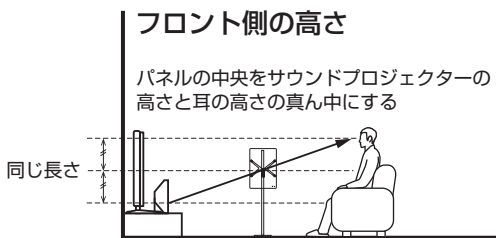
サウンドリフレクションボードを移動するときは、必ずポールを持ってください。



## 3 高さを決める

サウンドプロジェクター、サウンドリフレクションボードおよび視聴位置の関係から、パネルを適切な高さに調節する

パネルの高さを調節するときは、パネルホルダーのネジをいったん緩め、高さを変えて締めなおしてください。



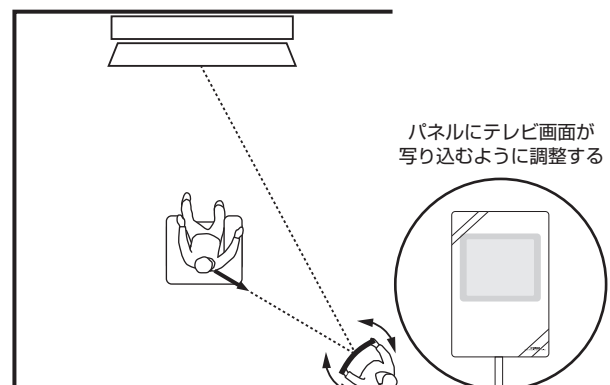
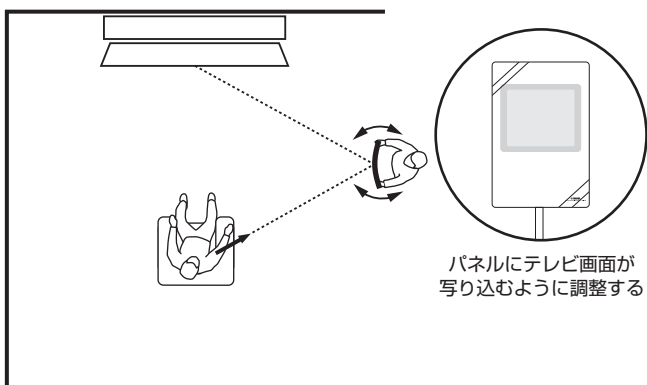
## 4 左右の方向を決める

音声ビームが視聴位置に反射するようにパネルの方向を調節する

テレビをつけ部屋を少し暗くして視聴位置からパネルを見た場合に、パネルにテレビ画面が写り込んでいるとき、パネルは適切な方向になっています。

場合によっては、テレビ画面の上下が欠けて写ることがあります。これは問題ありません。

パネルの方向は、パネルホルダーまたはポールを持って調節してください。



### NOTE

サウンドリフレクションボードを移動した場合は、元の位置や方向に戻してください。

# 5

## ビーム調整をする (2回目)

パネルに反射させるビーム角度などを調整します。  
ビーム角度は、パネルからの反射音を聞きながら調整します。

### NOTE

サウンドリフレクションボードをフロント側のみに設置した場合は、「ビーム調整 + 音質調整」で自動設定してください。使用環境によっては、自動設定で適切に設定されない場合があります。そのときは手動調節してください。

ビーム角度の調整方法は、サウンドプロジェクターによって操作が異なります。詳細は、サウンドプロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

### 1 リモコンを「YSPモード」に切り替える

- YSP-1000/800 の場合：  
リモコンの「YSP」キーを押します。
- YSP-4000/3000/1100/900/600/500、  
YRS-2000/1000 の場合：  
リモコン右側部の「TV/AV-YSP」スイッチで YSP を選択します。
- 上記以外のモデルの場合：  
リモコンのモード切替は不要です。

### 2 リモコンの「設定」キーを押す

設定メニューが表示されます。

### 3 ビーム設定を「5 ビーム」または「5 ビーム プラス 2」にする

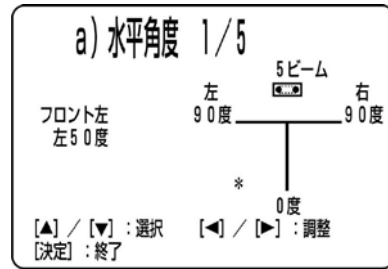
- YSP-4000/3000/1100/1000/900/800/600/  
500、YRS-2000/1000 の場合：  
「詳細設定」→「ビーム設定」→「設置視聴環境」→「本体設置位置」の設定を確認します。「コーナー置き」設定の場合、「壁置き」設定に変更し、リモコンの「5 ビーム」キーを押します。  
この場合、サウンドリフレクションボードを使用しないチャンネルも手順 5 でビーム角度を調整してください。
- YSP-5100/4100 の場合：  
「サウンド出力設定」→「ビーム出力設定」→「ビームモード」を「5 ビーム」または「5 ビーム プラス 2」に設定します。
- YSP-2200、YRS-2100/1100 の場合：  
「サウンド設定」→「サウンド出力」→「サラウンド」を、「5 ビーム」または「5 ビーム プラス 2」に設定します。
- 上記以外のモデルの場合：  
ビーム設定は不要です。

### 4 設定メニューで「詳細設定」→「ビーム調整」→「水平角度」を選択する

調整画面が表示されます。

### 5 「△」/「▽」/「◀」/「▶」キーを押して音声チャンネルを選択し、ビーム角度を調整する

視聴位置でパネルからの反射音が最も大きくなるように調整してください。



ビーム調整画面の例

### 6 自動設定の「音質調整」を実施する

パネルに音声ビームを反射させるチャンネルと通常の壁の反射を使用しているチャンネルの音質や音量の違いを補正します。自動設定したあとは「決定」キーを押して、サウンドプロジェクターに設定を保存してください。

「ビーム調整」および「ビーム調整 + 音質調整」は選択しないでください。それまでに調整したビーム角度が変わってしまいます。自動設定用のマイクを接続すると自動的に「ビーム調整 + 音質調整」になるモデルもあるのでご注意ください。誤って選択してしまった場合は、サウンドプロジェクターの調整を最初からやり直してください。

音質調整が完了したら、サウンドプロジェクターの調整は終了です。

## こんなときは

#### 正しく設定されているかわからない

→ サウンドプロジェクターからチャンネルごとのテストトーンを出した場合に、対応するパネルの方向から高音域の音が聞こえれば正しく設定されています。

#### 音がパネルの方向から聞こえない

#### サウンドリフレクションボードを動かしてしまった

→ サウンドリフレクションボードの設置からやり直してください。

## 仕様

外形寸法 (W × H × D)	300 x 1175 (最大) x 195 mm
パネル寸法	300 mm x 450 mm
パネルの高さ調整範囲 (パネル中央の高さ)	243 mm ~ 950 mm
ベース寸法	直径 195 mm
質量	1.5 kg (1 台)

# お問い合わせ窓口

## ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

### ■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。  
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00  
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

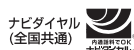
### ■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

## ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

### ■ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。  
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00  
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

### FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越地域にお住まいのお客様  
(03) 5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、東海、北陸地域にお住まいのお客様  
(06) 6465-0367

### 修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1  
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F  
FAX (03) 5762-2125

名古屋 〒454-0832 名古屋市巾着区清船町4丁目1-11  
ピアノ運送(株)名古屋営業所1F  
FAX (052) 363-5903

大阪 〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82  
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F  
FAX (06) 6465-0374

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4  
FAX (092) 472-2137

\*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

- **保証期間**  
製品に添付されている保証書をご覧ください。
- **保証期間中の修理**  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**  
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**

<b>技術料</b>	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
<b>部品代</b>	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
<b>出張料</b>	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**  
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **製品の状態は詳しく**  
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。  
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**  
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**  
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

#### 摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

### 永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

#### こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。  
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

